

新しい家族の誕生を支える助産師をめざして



看

護学生のと き母
性看護学の実習

で出産に立ち会い、助産師の仕事に感銘を受けたという上野さん。「出産は、新しい家族が生まれるスタートの場。そんな場面に関われるなんてすばらしいと思います」。看護学校卒業後、すぐに助産師をめざし、同校へ入学した。

助産学科は看護師養成課程修了者を対象とする1年制。周産期の医療とケアを、講義と病院実習を通して学ぶ。系列の2病院が主な実習施設となるので、「貫いた教育体制の中で知識と技術を身に着けていくことができる。」「多忙な毎日ですが成長も実感でき、充実しています」

最近では高齢出産などでお産の危険性が高い妊産婦も少なくない。妊産婦の性格や日常生活のことも考えながら、その人に合った保健指導が求められる。「納得して受け入れられ、実際の生活に生かしてもらうためには、「コミュニケーション能力も欠かせません」

出産は必ずしも整った設備の中で行われるとは限らない。「的確に妊産婦の状態を判断し、状況に応じた適切なケアやサポートが求められる。経験をたくさん積み、厳しい環境の中でも必要とされるよう、そんな実力のある助産師になれるように頑張ります」



ベルランド看護助産専門学校 助産学科20回生 上野 友希恵さん(21)